

# 予選、決勝ともに、TOM'S 36号&37号がワンツーフィニッシュ!

第3戦 5/25(土)26(日) 鈴鹿サーキット



## 予選Q2、36号車に逆転され2位に。トムのワンツーでサーキットが湧く!

5月にしては記録的な暑さに見舞われた三重県鈴鹿市にある鈴鹿サーキットにて、「SUPER GT第3戦 SUZUKA GT300kmレース」が開催された。

開幕戦と前戦の2戦では気まぐれな天候に翻弄され、結果を残せず、ウェイトは8kgと、例年であればここからウエイトハンデに苦しんで来たチームにとっていつもとは違う流れの今シーズン、シリーズを考えると決して取りこぼしができない大事な大会となる。

朝の練習では、8位と若干不安なスタートではあったが、マシンの状態は良く、公式予選では、ポールポジションを狙うべくニック・キャッシュ選手が予選Q1、予選Q2を平川亮選手が担当。

予選Q1を3番手で無事通過し、Q2では平川選手が渾身のタイムアタックで見事トップタイムを叩き出しポールポジション獲得!と思われた直後に、なんと0.013秒差で36号車に逆転され惜しくも2位!ピット内は、トムのワンツーで湧きつつも平川選手としては悔しさの残る予選となった。

## スタートドライバー平川選手、後半をキャッシュ選手でレース開始!

迎えた決勝日、薄曇りではあるが真夏の陽気。ドライで決勝も行けそうだ。選んでいるタイヤは、オフシーズンにセパンでテストをしている暑さに実績のあるものということで、自信を持って決勝に臨む。

スタートドライバーは平川選手、今回はキャッシュ選手が自ら後半スタントを志願し、チーム内でも検討の結果、このようなストラテジーで決勝レースを戦うことになった。

地元三重県警の先導の元パレードラップが行われた後、フォーメーションラップを経ていよいよ決勝レーススタート!ハイペースでギャップを築いていく36号車にしっかりついていくKeeper37号車。他車のトラブルによりセーフティカーが17周目に入り、その後、24周を終えピットイン。36号車が一周前にピットインし、同じ周回でピットインした6号車に先行を許し、キャッシュ選手がコース復帰した際は、3位にポジションダウン。しかしチームのルールで、上位にいるマシンを先にピットインさせるという事前の打ち合わせ通りであった。



## 虎視眈々と背中を追い、残り4周で2位にポジションアップ!

冷えたタイヤでポジションをあげるべく、キャッシュ選手が猛然と前を行くライバルに襲い掛かり、一度は2位に上がったものの、勢い余ってオーバーランでポジションダウン、3位を走行し虎視眈々とライバルの背中を追う37号車であったが、レース終盤の残り4周、第1コーナーでライバル6号車の背後に付けると、GT300クラスのマシンをうまく使い、2位にポジションアップ!ピット内も、ホスピタリティも一気に盛り上がり拍手喝采!そのまま36号車に続き、2位でチェッカー!トムスワンツーフィニッシュを果たした。

悔しさも当然残るレースだったが、ライバルがすぐそばにいる戦いは、これからも続きます。次のラウンドは得意とするタイ!ここから、シーズンの巻き返しを図ります。

## キーパープロショップさんに聞きました!

ダイヤモンドキーパー(またはWダイヤモンドキーパー)の施工、ガラス被膜の硬化時間を短縮する方法  
水ジメ<sup>※</sup>をやってみていかがですか?

### 状況によって選べるのが良い

遠鉄石油(株) キーパープロショップ森田店

水ジメの良いところは、硬化時間を促進できることです。

この水ジメで時間を短縮させるか、今までのように硬化時間を使って他の作業をしたりするのか選べるようになったのが、現場としては大きいです。たとえばブースの中が埋まった状態で、もう1台ブース内での施工が必要な車が予約で入った場合、水ジメで時間短縮をして仕上げ、その車は屋根のある場所へ持って行き、予約の車をブースに入れることができます。あるいは次の車がいつでも受け入れができるようにしたいから、今あるダイヤモンドキーパーを仕上げおきたい時も水ジメは有効です。Wダイヤモンドキーパーの時は、最大で約4時間短縮できるのは本当に大きいと思います。

また、ダイヤモンドキーパーシリーズの部分施工の時もこの水ジメはかなり有効です。特にWダイヤモンドキーパーの部分施工(ドア1パネルなど)は硬化時間4時間+作業で約5時間かかっていたのが1時間からずできるのでお客様を待たせずに施工できます。

ダイヤモンドキーパーの施工時間のせいで、苦手意識があった人も多いかと思いますが、水ジメという選択肢が増えたことは大きいです。

現在車を長く乗っていたいというお客様が増えている中で、コーティングも長く塗装を守る需要が高まってきていると思います。そんな需要に合っているダイヤモンドキーパーシリーズを、これまで通り自信を持ってキレイになると伝えていきます。



※ダイヤモンドキーパー(または、Wダイヤモンドキーパー)の施工、ガラス被膜の硬化時間を短縮する方法。ダイヤモンドキーパーのガラス被膜に「純水」を噴きかけることで、ガラス被膜表面を強制的に硬化促進させる方法です。水ジメをすると、すぐにレジン被膜が塗布できる状態になります。

ガラス被膜が、さらに分厚く、ツヤが2倍!!水ハジキが2倍!!  
ホイールコーティング2をやってみていかがですか?

### 圧倒的なツヤ! 耐久性と価格にお客様も納得

サンアイ自動車(株) Keeper PRO SHOP 春日井味美店

今までのホイールコーティングと全然違うのは何といっても【ツヤ】です。

ホイールの色は多くはシルバーで、シルバーが一番ツヤが伝わりにくい色だと思っています(ボディもそうですが)。そんなシルバーのホイールに今回の新しいホイールコーティング2を塗ったら、ツヤが段違いに違います。黒などの色のあるホイールに塗ったら圧倒的なツヤで光ります。このツヤにはスタッフも自信を持って提案しやすくなっています。

また、耐久性が半年から1年になった、価格が信用できる価格になったとお客様からは聞きます。このことから半年の耐久性が短かったのと、価格が安すぎたのだと感じます。

汚れの付きにくさや洗いやすさも、すでに実感されているお客様からは本当に良い商品に出会ったと感動もされています。



お客様も増えてきたこの1年。今後は洗車からでも提案できるこのホイールコーティング2を軸に足元からボディにかけてキレイにしていきたいです。